

授業科目名	こども音楽療育演習	教員名	後藤 祐子 (実務経験のある教員)	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	
					小学校教諭	
科目番号	KOD202	配当年次	2年後期		幼稚園教諭	
授業形態	演習				保育士	
単位数	1単位				こども音楽療育士	必修
科目					情報処理士	
施行規則に定める科目区分						
一般目標	こども音楽療育の実践的方法を理解し、実践現場において音や音楽の特性を生かした活用ができる技能と感性、創造性を高める。					
到達目標	(1)障害のあるこどもを対象とした音楽療育について基礎的知識を理解することができる。 (2)障害のあるこどもを対象とした音楽療育の実践ができる。 (3)発達援助のために音や音楽の使い方を理解して、音楽や療育活動を構成することができる。 (4)発達に合わせた遊びを創造することができる。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5.教育実践力を身につけている。」及び「6.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」に該当する。					
授業の概要	障害のあるこどもを対象とした音楽療育の実践方法に関する基礎と専門知識・技術技能について学習する。発達の援助のための音や音楽の使い方、障害種別、形態別（個別、集団など）の療育の具体的方法、楽器の活用法や身体活動と音楽との関連を視野に入れた実践方法について学ぶ。					
履修条件・注意事項	本授業は、全国大学実務教育協会認定「こども音楽療育士」資格に対応した科目である。本科履修前に「こども音楽療育概論」を履修することが望ましい。					
授業計画	<p>第1回：オリエンテーション 授業目標及び本授業の到達目標を確認する。（目標(1)） （事前・事後学習）シラバスを読み、授業の流れを理解する。</p> <p>第2回：音楽療法プログラムの立て方と目的 コ・ミュージックセラピーの流れを理解し、目的を持って計画を立てる力を身につける。 （事前・事後学習）教科書p125～169を読む。</p> <p>第3回：基礎的技術の習得① ハンドドラム挨拶、手遊び・歌遊びの実際を学ぶ。 （事前・事後学習）手遊び5曲、動物の歌を練習する。</p> <p>第4回：基礎的技術の習得② 身体活動と音・音楽を学ぶ。 （事前・事後学習）リズム・ムーブメントの練習を行う。</p> <p>第5回：音楽の構成の方法 歌唱曲など音楽を聴いて、構成について考え、実際に楽器構成をする。 （事前・事後学習）学習した曲の歌唱・伴奏の練習</p> <p>第6回：肢体不自由児への音楽療育 肢体不自由児に対する個別音楽療育と集団音楽療育の具体的方法について学ぶ。 （事前・事後学習）肢体不自由児の音楽療育に関する課題に取り組む。</p> <p>第7回：発達障害児への音楽療育① 発達障害児に対する個別音楽療育の具体的方法について学ぶ。 （事前・事後学習）発達障がい児の音楽療育に関する課題に取り組む。</p> <p>第8回：発達障害児への音楽療育② 発達障害児に対する集団音楽療育の具体的方法について学ぶ。 （事前・事後学習）発達障がい児の音楽療育に関する課題に取り組む。</p> <p>第9回：知的障害児への音楽療育 知的障がい児に対する集団音楽療育の具体的方法について学ぶ。 （事前・事後学習）知的障がい児の音楽療育に関する課題に取り組む。</p> <p>第10回：視覚・聴覚障害児への音楽療育 視覚障害児・聴覚障害児に対する集団音楽療育の具体的方法について学ぶ。 （事前・事後学習）視覚障害、聴覚障害児の音楽療育に関する課題に取り組む。</p> <p>第11回：発達援助のための遊びと音楽① 発達を援助していくための遊びの創造方法を学ぶ。 （事前・事後学習）発達援助のための音楽遊びを考案する。</p> <p>第12回：発達援助のための遊びと音楽② 発達を援助していくための遊びの創造方法を学ぶ。 （事前・事後学習）発達援助のための音楽遊びを考案する。</p> <p>第13回：模擬セッション① グループごとに模擬セッションを行う。 （事前・事後学習）計画を立て、練習する。</p> <p>第14回：模擬セッション② グループごとに模擬セッションを行う。 （事前・事後学習）計画を立て、練習する。</p> <p>第15回：まとめ 半期を振り返り、障がい児への音楽療育の実践方法のポイントを復習する。 （事前・事後学習）レポートを書く。</p>					

授業外学修時間の確保について	授業外学修は、事前・事後学習として週2時間以上行うこと。 指示された授業外学習の他に、予習・復習に1時間をあて、授業準備をすること。 授業計画に記載のとおり。
学生に対する評価	授業記録10%、活動への取り組み20%、レポート30%、授業中及び終了時の試験40% なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。 ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。
テキスト	『音と人をつなぐ コ・ミュージックセラピー』中島恵子・山下恵子著 春秋社 『はらっぱde楽譜集』中島恵子 こども音楽センター
参考書・参考資料等	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(フレーバル館)
担当者からのメッセージ	演習に際しては、対象者理解を深め、理論と実践のつながりを深めるためにグループワークや体験を通した学びを重視して行う。体験をフィードバックを繰り返し互いに語り合うことを大切にしたい。
オフィスアワー	火曜日 16:20~17:00 その他、必要に応じて個別に対応する。
備考	・保育・教育の現場で実践してきた音楽遊びを通した子ども理解や発達支援について、具体的な実践方法を教授する。